

沖縄県試験研究機関整備の助成に要する経費（継続）

【48（48）百万円】

事業のポイント

沖縄県の農林水産業の発展に資する技術の向上に必要な試験研究を行うための施設・備品を整備します。

（亜熱帯気候である沖縄特有の農林水産物の例）

- ・ 「オートー」、「タロガヨ」は、沖縄県在来のカンキツで、「オートー」は果汁の多さと独特の酸味、「タロガヨ」は酸味と甘味が混じった上品な味わいといった特徴があり、機能性成分の高い系統を育成することにより、さらに付加価値の高い果実としての生産振興が図られることが期待されます。
- ・ 「デイゴ」はマメ科の落葉高木で、琉球漆器の素地等に用いられる他、広く街路樹や庭園樹に用いられており、また、沖縄県の県花にもなっています。

政策目標

沖縄県農林水産業に係る試験研究の促進

<内容>

亜熱帯気候である沖縄県に適合する新品種の育成や栽培・管理技術の開発、沖縄県固有の貴重な遺伝資源を活用した農林水産物の安定的生産技術の確立・普及に必要な試験研究を推進するため、以下の施設・備品を整備します。

（1）沖縄県農林業関係試験研究機関施設備品整備費

（ア）農業関係試験研究機関施設費

- ・ 沖縄県の古くからの伝統的な食肉家畜である山羊の産地形成のため山羊の育成・選抜を行うための山羊飼養管理試験施設

（イ）農業関係試験研究機関備品整備費

- ・ 沖縄の在来カンキツ（オートー、タロガヨ等）に含まれる機能性成分を多く含む優良系統を選抜するために必要な果実品質評価システム 等

（ウ）林業試験場備品整備費

- ・ 琉球漆器の素地等に利用される樹木であるデイゴの枯損害の発生メカニズムを解明するために必要な蛍光・微分干渉顕微鏡 等

（2）沖縄県水産試験場整備費

- ・ 沖縄県の主要な水産物であるソデイカの未利用部分を加工した試作品の呈味成分やモズクの栄養塩濃度解明を分析するために必要な高感度定量分析装置 等

【補助率：施設9.5/10 備品1/2】

<実施主体> 沖縄県

<実施期間> 平成14年度～平成23年度

[担当課：農林水産技術会議事務局研究推進課 03-3502-7462(直通)]